

六月二十日(日曜)

- 工場休日
- 争議團本部に竹籠城終日を過す、籠れる者百数十名なり、
- 大矢・山内・安藝等所轄署に出頭、陳情する所あり、
- 午後十時、全労常任幹事約四十名大阪労働學校に集り鳩首善後策を講ず、

六月二十日(月曜)

- 出勤者九三五名、
- 争議團員依然として警官隊と対峙し、観衆多数増集す、尚争議團は「籠城事件に就いて」と題する「ビラ」を撒す、
- 午後山内・大矢・藤岡・河上等府廳に出頭折衝の結果犠牲者約三十名を引渡して警戒の解除を受けることとなり奔走深更に及び、
- 午後四時春日出町民の代表と稱する者六名、製鋼所に入り河井支配

人に會見、圓滿なる解決を冀む、

六月二十日(火曜)

- 出勤者九三六名、
- 昨夜深更、争議團幹部梯子を攀ぎて本部に入り犠牲者三十名の引渡に就き漸く團員等の同意を得たるを以て形勢遽かに好轉し警備は今朝全く撤去せられ、界限奮に復す、
- 犠牲者廿午前十一時朝日橋に出頭す、
- 午後七時中之島公會堂に於て全労主催の官憲乱暴演説會井上良二司會の下に開催せらる、聴衆三千五百、
- 辯士出張・中村・大矢・山内・安藝・藤岡・浅沼・吉田・田萬等二十名に及び、各、乱闘事件に於ける官憲の態度を非とし糾弾する所ありしも氣勢揚らず、

六月二十四日(水曜)